

島根大学

島根県立三瓶自然館との共催で「サヒメル科学探険隊」を 三瓶演習林で開催

島根大学 山下多聞

島根大学三瓶演習林は国立公園三瓶山の北麓にあり、周辺には国立三瓶青少年交流の家や島根県立三瓶自然館など文教施設が集まっています。三瓶自然館では近年「サヒメル科学探険隊」という理科好き小学生向けのイベントを開催しています。平成30年度の全5回のイベントの第4回目として島根大学三瓶演習林と共催で「三瓶山の森林で大学の研究者と一緒に活動しよう！」と銘打った日帰りイベントを開催しました。

イベント当日の平成30年10月21日（日）は朝から好天にめぐまれ、予定通り朝10時半過ぎに三瓶自然館のバスに揺られて11名の小学生が三瓶演習林庁舎に到着しました。メインテーマは「酸性雨と森林」です。酸性雨といえばまず電気伝導度 EC と水素イオン濃度指数 pH について語らないといけません。小学生はまだ習っていません。水溶液の水質についてイメージできればと、EC とは～pH とは～と簡単に説明した後、身近な素材を使って EC や pH を測定させました。EC は食塩とグラニュー糖の水溶液を、pH は温泉水とスダチ果汁を使用しました。

温泉水などを使ったウォーミングアップに続いて、午後からは演習林の森林に連れ出し、事前に設置しておいた林外雨、林内雨、樹幹流の採水装置からサンプルを回収し、河川最上流部の小溪流で河川水を採水しました。演習林庁舎に戻り、自分たちで EC と pH を測定し、酸性雨や森林の降水の水質についてまとめました。質疑応答では説明の難しいことも聞かれ、小学生の知識プラスアルファで理解できるような回答をこころがけました（実際にそうできていたかどうかは不明ですが）。

業務上の位置づけとしては演習林の立地する地域との協働であり地域への貢献でありということになります。しかし、何よりも小学生の素直なりアクションに癒されリフレッシュできた一日になりました。

